

学校名 中津小学校 校長名 那須広代

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			段階	人数	平均	段階	人数	平均	主な意見	
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数	平均	・各種たよりや会合の場で子供たちの様子を伝えながら、経営方針について理解してもらえるようにしていく。	段階	人数	平均	・学校だよりで十分伝わっている。
			A	6	3.9		A	17	3.9	
			B	1			B	3		
			C				C	0		
D		D	0							
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	段階	人数	平均	・児童や教師が共に意識できるようにしっかり共通理解を図っていく。	段階	人数	平均	・学校だよりで十分伝わっている。
			A	4	3.6		A	13	3.7	
			B	3			B	7		
			C				C	0		
D		D	0							
3	(2)	子供たちは、楽しそうに生き生きと学校生活を送っている。	段階	人数	平均	・学校が楽しいと答えている児童は、2学期末アンケートでは100%だった。	段階	人数	平均	・校庭で元気に過ごす姿が見えてよい学校生活を送っている。
			A	6	3.9		A	18	3.9	
			B	1			B	2		
			C				C	0		
D		D	0							
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	平均	・毎月のいじめアンケートや学期ごとのアンケート等で早期発見・対応に取り組んだ。	段階	人数	平均	・積極的に取組がうかがえる。
			A	6	3.9		A	18	3.9	
			B	1			B	2		
			C				C	0		
D		D	0							
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	段階	人数	平均	・避難訓練では、関係団体と連携して取り組んでいる。今後も見直しをしていく。	段階	人数	平均	・付添の登下校をよく見かけ、注意を払っている。
			A	5	3.7		A	17	3.9	
			B	2			B	3		
			C				C	0		
D		D	0							
6	(4)	教職員は、子供や保護者、地域との望ましい関係を築いている。	段階	人数	平均	・PTA行事等への参加は、全員参加ができています。地域行事へもできるだけ参加している。	段階	人数	平均	・地域との関係をもう少し密にしてほしい。
			A	5	3.7		A	13	3.7	
			B	2			B	7		
			C				C	0		
D		D	0							
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	段階	人数	平均	・野菜の栽培等に取り組む、収穫の喜びを味わうことができた。花壇もたくさんの花を咲かせることができています。	段階	人数	平均	・整理整頓がされている。
			A	6	3.9		A	18	3.9	
			B	1			B	2		
			C				C	0		
D		D	0							
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。	段階	人数	平均	・毎月の安全点検を確実に実施し、緊急性を考えながら対応した。	段階	人数	平均	・定期点検がされている。
			A	5	3.7		A	15	3.8	
			B	2			B	5		
			C				C	0		
D		D	0							
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	平均	・学校だよりやHP、ブログで、今後更に広く周知していく。	段階	人数	平均	・ほぼ知らされている。
			A	3	3.4		A	7	3.4	
			B	4			B	13		
			C				C	0		
D		D	0							
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	平均	・学校行事やPTA行事への参加率が高い。学校応援団の協力もいただくことができた。	段階	人数	平均	・地域の支援がほしい。
			A	6	3.9		A	15	3.8	
			B	1			B	5		
			C				C	0		
D		D	0							

学 校 名
中津小学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)			主な意見
			段階	人数	平均		段階	人数	平均	
11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践され、子供たちの姿として現れている。	A	2	3.3	・9年間で育てたいことをより明確にして、小中で共通理解を図り、継続した取組を実践していく。	A	6	3.3	・もう少し小中の交流がほしい。
			B	5			B	14		
			C				C	0		
			D				D	0		
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えてくれている。	A	4	3.6	・児童の実態や思いを考え、内容と講師(人材)の検討を行っている。	A	11	3.6	
			B	3			B	9		
			C				C	0		
			D				D	0		
13	(6)	英語教育の推進について、小・中学校の特質を活かして充実が図られている。	A	1	3.1	・中学校の英語の授業を参観したり、小学校と中学校の職員同士が情報共有したりしている。	A	5	3.3	
			B	6			B	15		
			C				C	0		
			D				D	0		
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	A	2	3.3	・決まったあいさつ(校内等)はできるが、地域でのあいさつは個人差がある。 ・親や教師が良い見本を示したり、進んであいさつができた時は褒めたりする。	A	6	3.2	・もう少し子供たちから進んであいさつしてほしい。
			B	5			B	11		
			C				C	3		
			D				D	0		
15	(8)	教育公務員としての職責感の高揚と服務規律の厳正確保に努めている。	A	7	4.0	・研修を行ったり、新聞記事を活用したりして、意識を高めた。	A	17	3.9	・よいと思う。
			B				B	3		
			C				C	0		
			D				D	0		

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

＜学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策＞

- 学校だよりやHP、ブログのみの周知だけでは情報が一方的なので、学校職員と地域の方々との情報共有や意見交換等の場を少しずつでも良いので、増やしていく。
- 学校全体の課題であるあいさつについて、全校をあげて取組を進めていきたい。学校での指導、家庭での励行、元気なあいさつができる子供たちに育てていきたい。